

大学名等	福島県立医科大学大学院医学研究科
教育プログラム・コース名	遺伝性腫瘍インテンシブコース（インテンシブ）（テーマ③）
対象職種・分野	医師、看護師、薬剤師、放射線技師、理学療法士、検査技師、研究者など
修業年限（期間）	1年
養成すべき人材像	・がんゲノム医療や遺伝子プロファイルによるがん個別化医療に精通した医師、医療従事者、研究者 ・遺伝性腫瘍や希少がんを含むすべての悪性腫瘍疾患について臓器横断的にプレシジョン・メディシンに精通した医師、医療従事者、研究者 ・AYA世代や高齢者などライフステージや新ニーズに応じた治療を実践できる医師、医療従事者、研究者
修了要件・履修方法	6回の実習もしくは講義による研修形式 レポートの提出・審査の合格をもって修了とする
履修科目等	<研修内容> がんゲノム診断、遺伝カウンセリング、新規薬物療法、高齢者における副作用対策、治療小児がん患者支援に関する講義と実習を行う。
がんに関する専門資格との連携	乳腺専門医（日本乳癌学会）の研修施設として認定。
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	最新の個別化がん薬物療法や外科治療の他に、がん治療における多面的な知見・情報を適宜取り入れた講義を行う。東北次世代がんプロ参加大学と連携しており、小児腫瘍・希少がんについては、本学で多職種参加のカンファレンスが開催されている他に、東北がんネットワークのシステムを利用したWebカンファにも参加できる。
指導体制	・福島県立医科大学医学部乳腺外科学講座の教授以下、教員6名 ・乳腺外科、臨床腫瘍センター、腫瘍内科、放射線治療科、小児腫瘍内科、緩和ケアセンター、血液内科、遺伝診療部、ふくしま子ども・女性医療支援センター、臨床研究イノベーションセンター、先端臨床研究センター、医療産業トランスレーショナルリサーチセンターの各領域専門医が共同で指導する。
修了者の進路・キャリアパス	・がんゲノム医療、個別化医療に精通した医療者として、福島県立医科大学附属病院や福島県内のがん診療連携拠点病院に勤務